

2 管内情勢

位置・面積／人口・世帯数／所在地	13
町勢及び消防吏員／地区別人口・世帯数	14
消防配置図	15

位置・面積

平成20年4月1日現在

区分 管内別	位置		面積 km ²	広ぼう(km) (広がり)	
	東 経	北 緯		東西	南北
湯河原町	139° 6' 31"	35° 8' 51"	40.99	10.1	6.8
真鶴町	139° 8' 26"	35° 9' 18"	7.02	1.0	7.0

(位置は、両町とも町役場を示す。)

人口・世帯数

平成20年4月1日現在

区分 管内別	人 口 (人)			世 帯 数 (世 帯)
	総 数	男	女	
湯河原町	27,702	12,968	14,734	12,369
真鶴町	8,665	4,103	4,562	3,526
計	36,367	17,071	19,296	15,895

(両町とも、住民基本台帳による。)

所在地

平成20年4月1日現在

区分		所 在 地	電 話 番 号 ファックス番号
本部署別			
湯河原町消防本部		〒259-0303 神奈川県足柄下郡 湯河原町土肥一丁目5番地22	TEL 0465-60-0119 FAX 0465-63-7666
湯河原町消防署	本 署		
	分 署	奥湯河原分署 〒259-0314 神奈川県足柄下郡 湯河原町宮上775番地27	TEL 0465-63-2855 FAX 0465-63-2855
	真鶴分署	〒259-0201 神奈川県足柄下郡 真鶴町真鶴515番地1	TEL 0465-68-3661 FAX 0465-68-3661

町勢及び消防吏員

年別	管内別	面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数	1世帯 当りの 人員数	1km ² 当りの		消防吏員 数	消防吏員 1人当りの		
						人口 (人)	世帯数		面積 (km ²)	人口 (人)	世帯数
平成 16年 (2004)	湯河原町	40.99	28,137	12,082	2.33	686	295	76	0.63	492	205
	真鶴町	7.02	9,150	3,531	2.59	1,303	503				
平成 17年 (2005)	湯河原町	40.99	28,101	12,156	2.31	686	297	74	0.65	502	212
	真鶴町	7.02	9,076	3,542	2.56	1,293	505				
平成 18年 (2006)	湯河原町	40.99	27,982	12,243	2.29	683	299	75	0.64	493	211
	真鶴町	7.02	8,968	3,554	2.52	1,277	506				
平成 19年 (2007)	湯河原町	40.99	27,782	12,285	2.26	678	300	76	0.63	482	208
	真鶴町	7.02	8,849	3,550	2.49	1,261	506				
平成 20年 (2008)	湯河原町	40.99	27,702	12,369	2.24	676	302	76	0.63	479	209
	真鶴町	7.02	8,665	3,526	2.46	1,234	502				

※ 各年とも4月1日現在の数値です。

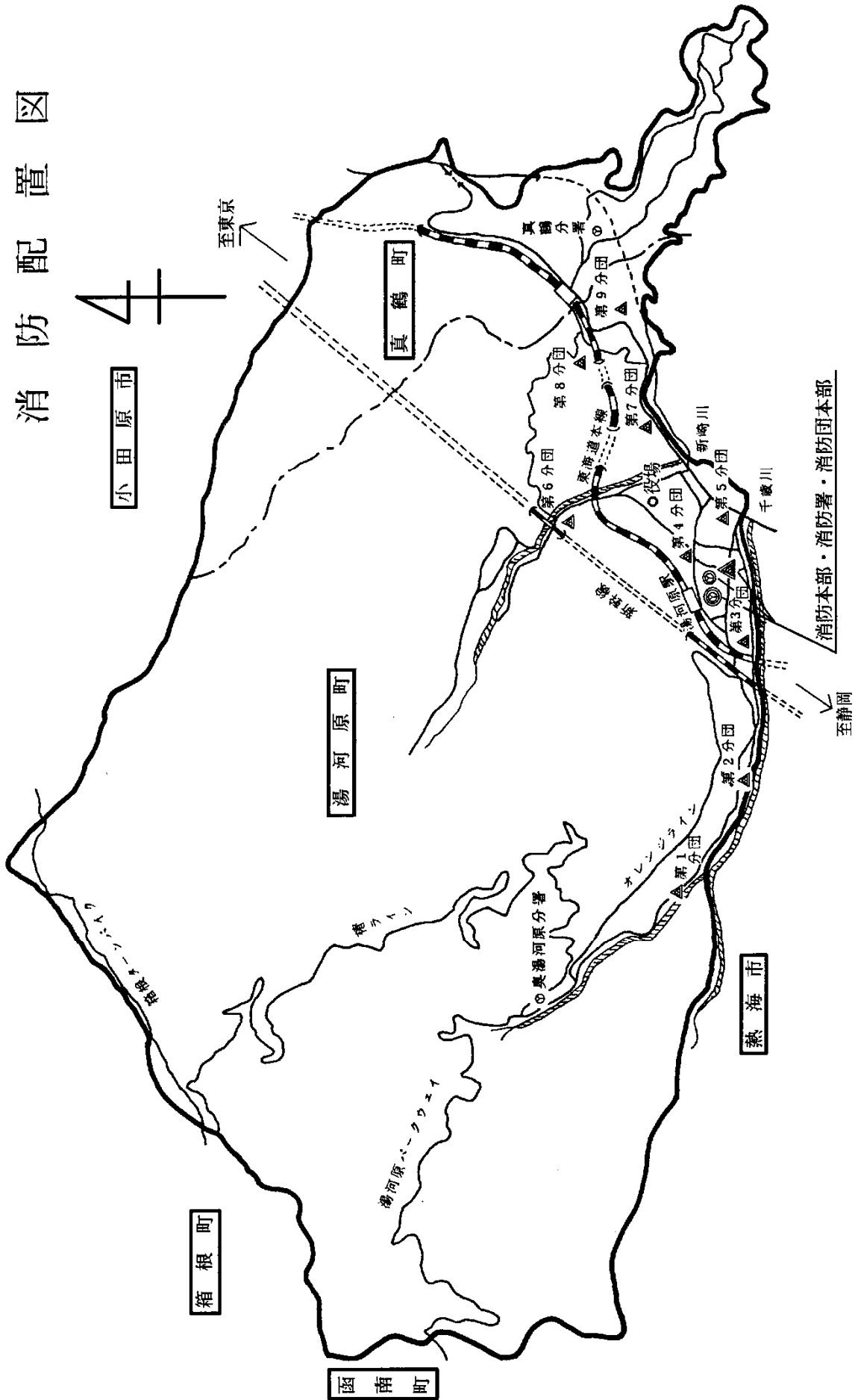
地域別人口・世帯数

平成20年4月1日現在

地区別		区分	人 口			世 帯 数
			計	男	女	
湯 河 原 町		奥湯河原	167	75	92	109
		温泉場	1,689	767	922	854
		宮上	1,806	773	1,033	871
		宮下	4,807	2,200	2,607	2,268
		城堀	2,440	1,188	1,252	1,179
		門川	2,336	1,128	1,208	1,044
		鍛冶屋	4,788	2,298	2,490	1,896
		中央	2,852	1,344	1,508	1,253
		吉浜	3,677	1,683	1,994	1,660
		川堀	2,003	982	1,021	778
		福浦	1,137	530	607	457
		小計	27,702	12,968	14,734	12,369
真 鶴 町		真鶴	5,699	2,690	3,009	2,360
		岩	2,966	1,413	1,553	1,166
		小計	8,665	4,103	4,562	3,526
合 計			36,367	17,071	19,296	15,895

※ 両町とも、住民基本台帳による。

消防配置図

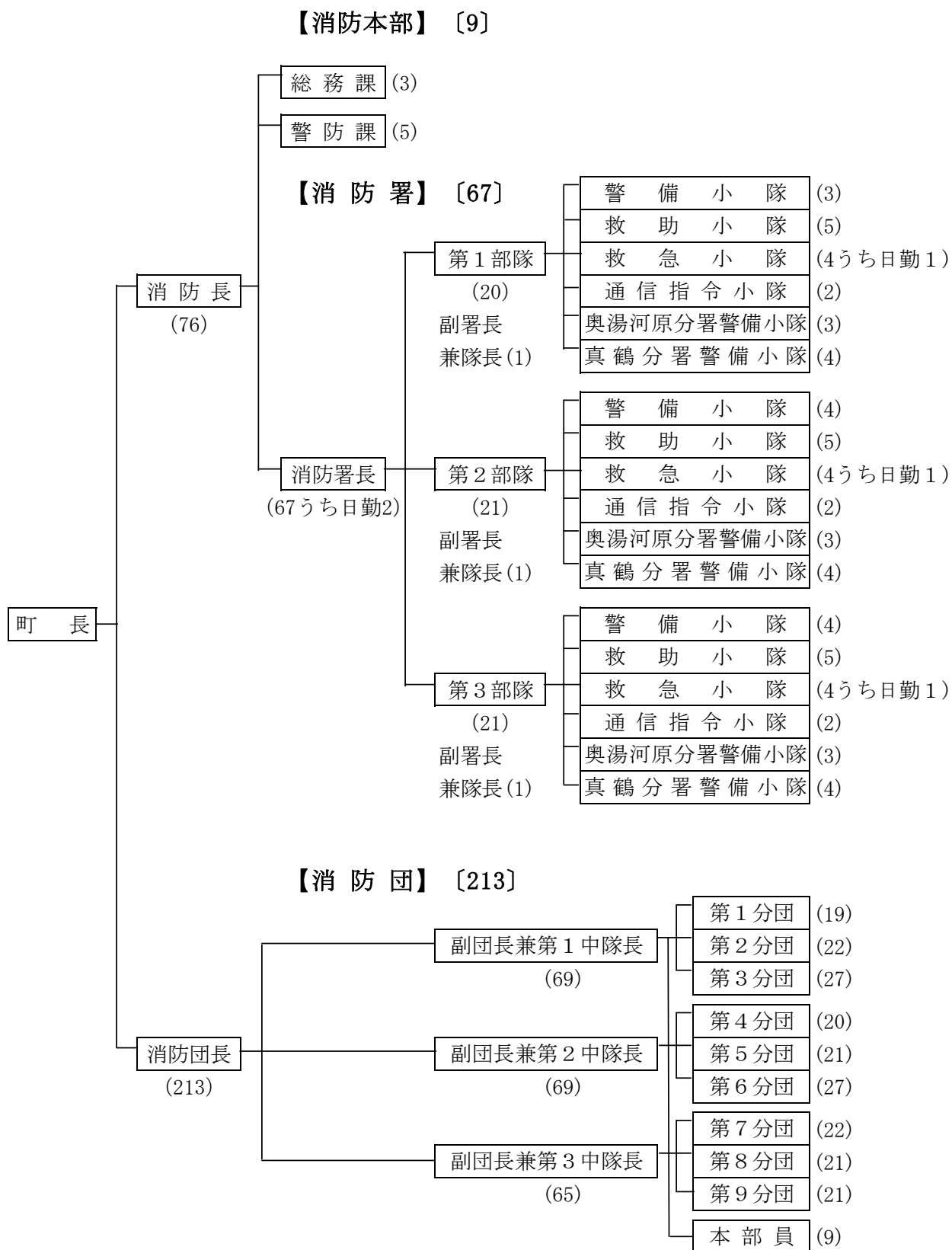


3 組織・職員

消防の組織	16
消防本部・消防署事務分掌	17
消防力の整備指針と現有（人員）／消防職員配置状況	19
消防職員の年齢・勤続年数・居住地状況	20
特殊技能資格取得状況	21

消 防 の 組 織

平成20年4月1日現在



※団本部団員：H20・4・1発足、退団した正副分団長を再任用

消防本部・消防署事務分掌

消 防 本 部

総 務 課

- (1) 消防事務事業の企画及び調整に関すること。
- (2) 消防関係例規等の制定及び改廃に関すること。
- (3) 消防事務の受託に関すること。
- (4) 消防長会に関すること。
- (5) 消防団業務の企画及び調整に関すること。
- (6) 消防団員の任命、服務及び身分に関すること。
- (7) 消防団員の研修に関すること。
- (8) 消防団員の公務災害補償及び賞じゅつに関すること。
- (9) ほう賞、表彰及び式典に関すること。
- (10) 消防協会に関すること。
- (11) 各種統計、消防年報に関すること。
- (12) 予算の経理及び物品の出納に関すること。
- (13) 文書の收受及び発送に関すること。
- (14) 消防施設及び財産の管理に関すること。
- (15) 公印の管理に関すること。
- (16) 消防職員の任免、服務及び身分に関すること。
- (17) 消防職員の研修及び教養に関すること。
- (18) 消防職員の福利厚生及び衛生管理に関すること。
- (19) 消防職員委員会に関すること。
- (20) 庶務に関すること。

警 防 課

- (1) 災害対策及び消防特別警戒警備に関すること。
- (2) 消防水利の整備及び管理に関すること。
- (3) 火災の原因、損害の調査及びり災証明に関すること。
- (4) 救急講習会、応急手当の普及指導に関すること。
- (5) 開発行為に係る消防上の指導に関すること。
- (6) 消防応援協定に関すること。
- (7) 防災計画に基づく消防計画の策定及び消防総合訓練計画に関すること。
- (8) 火災予防の企画、普及並びに防火相談に関すること。
- (9) 防火管理者、危険物取扱者及び保安監督者の指導並びに講習に関すること。
- (10) 火災予防条例の規制、指導及び届出検査に関すること。
- (11) 防火対象物及び危険物施設の予防査察に関すること。
- (12) 建築確認の同意に関すること。
- (13) 防火対象物に係る消防計画並びに危険物施設に係る予防規程の審査及び指導に関すること。

- (14) 消防用設備等に関する事。
- (15) 液化石油ガス、高圧ガスの保安指導に関する事。
- (16) 消防対象物及び屋外における火災予防措置に関する事。
- (17) 危険物、指定可燃物等の規制及び指導に関する事。
- (18) 表示公表制度に関する事。
- (19) 防火団体にに関する事。
- (20) 所管の調査統計及び課内の庶務に関する事。

消 防 署

警 備 小 隊

- (1) 消防活動に関する事。
- (2) 救急活動に関する事。
- (3) 警防調査、計画に関する事。
- (4) 車両、資機材の保全運用に関する事。
- (5) 防火対象物の立入検査に関する事。
- (6) 消防訓練の指導に関する事。
- (7) その他当直業務に関する事。

救 助 小 隊

- (1) 救助活動に関する事。
- (2) 消防技能に関する事。
- (3) 署内の庶務及び管理に関する事。
- (4) その他当直業務に関する事。

救 急 小 隊

- (1) 救急活動に関する事。
- (2) 救急技能に関する事。
- (3) 救急業務に関する事。
- (4) 救急調査に関する事。

通 信 担 当

- (1) 消防無線に関する事。
- (2) 消防指令及び通信業務に関する事。
- (3) 消防通信施設に関する事。
- (4) 災害広報に関する事。
- (5) 気象観測に関する事。
- (6) 消防庁舎の警備に関する事。

消防力の整備指針と現有（人員）

平成20年4月1日現在

区分 比較	消防 隊員	救急 隊員	救助 隊員	指揮 隊員	消防 隊員	通信 員	庶務の 処理等 の人員	計	充足率 (%)
基準人員（人）	101				13	9	7	130	62.3%
現有人員（人）	67				5	6	3	81	
過不足数（人）	△ 34				△ 8	△ 3	△ 4	△ 49	

消防職員配置状況

平成20年4月1日現在

階級別 区分	計	消 防 吏 員						事 務 吏 員
		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	
定 員	81							
実 員	76	1	21	24	19	7	4	
消 防 本 部	消 防 長	1	1					
	総 務 課	課 長	1	1				
		主 幹	1	1				
		副 主 幹	1		1			
		主 任	0					
		課 員	0					
	警 防 課	課 長	1	1				
		主 幹	2	2				
		副 主 幹	2		2			
		主 任	0					
課 員	0							
小 計	9	1	5	3				
消 防 署	署 長	1	1					
	副署長(隊長兼務)	3	3					
	中 隊 長	0						
	主幹兼小隊長	12	12					
	小 隊 長	7		7				
	副 主 幹	14		14				
	主 任	19			19			
	隊 員	11				7	4	
小 計	67	0	16	21	19	7	4	
消防学校出向消防吏員（内数）	3					1	2	

消防職員の年齢・勤続年数・居住地状況

平成20年4月1日現在

階級別 区分		計		消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	
		人員(人)	比率(%)								
実員	(上段人員)	76	—	1	21	24	19	7	4		
	(下段割合%)	—	100.0	1.3	27.6	31.6	25.0	9.2	5.3		
年齢	18歳以上～20歳未満	1	1.3						1		
	20歳～25歳未満	4	5.3					2	2		
	25歳～30歳未満	5	6.6					4	1		
	30歳～35歳未満	10	13.2				9	1			
	35歳～40歳未満	8	10.5			2	6				
	40歳～45歳未満	6	8.0		1	5					
	45歳～50歳未満	16	21.1		3	12	1				
	50歳～55歳未満	17	22.4		12	3	2				
	55歳以上	9	11.8	1	5	2	1				
	平均年齢(歳)	42.5	—	59.0	52.4	48.9	35.8	26.7	22.8		
勤続年数	1年未満	4	5.3						4		
	1年～5年未満	3	3.9					3			
	5年～10年未満	6	7.9				2	4			
	10年～15年未満	4	5.3				4				
	15年～20年未満	12	15.8			3	9				
	20年～25年未満	5	6.6			5					
	25年～30年未満	15	19.7		4	10	1				
	30年以上	27	35.5	1	17	6	3				
	平均勤務年数(年)	22.6	—	36.0	32.4	26.8	17.8	4.6	1.0		
居住地	管内	湯河原町	宮上	3	3.9			1	2		
			宮下	3	3.9			2	1		
			土肥	4	5.3		2		2		
			門川	0	0.0						
			城堀	5	6.6	1	2				2
			鍛冶屋	3	3.9		2	1			
			中央	15	19.7		3	7	2	3	
			吉浜	12	15.8		1	3	4	3	1
			福浦	0	0.0						
			小計	45	59.2	1	10	14	11	6	3
	真鶴町	真鶴	3	3.9		2	1				
		岩	1	1.3			1				
		小計	4	5.3	0	2	2	0	0	0	
	管内(両町)計		49	64.5	1	12	16	11	6	3	
	管外	小田原市	6	7.9		1		4	1		
		熱海市	17	22.4		6	7	4			
その他		4	5.3		2	1			1		
管外計		27	35.5	0	9	8	8	1	1		

特殊技能資格取得状況

平成20年4月1日現在

階級別・所属別 免許・免状・資格		計	所属別						所属別					
			消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士	事務吏員	本部	本署	分署		
												奥湯河原	真鶴	
実員		76	1	21	25	19	7	3		9	46	9	12	
自動車関係	運転免許	大型	43		11	17	9	5	1		6	29	4	4
		大型特殊	1			1						1		
		普通	33	1	10	7	10	2	3		6	14	5	8
		自動二輪(大型)	33	1	10	12	6	3	1		7	20	2	4
		自動二輪(普通)	23		4	6	8	3	2		2	11	6	4
	クレーン・移動式クレーン	40		13	20	7				5	26	4	5	
	建設用リフト	2		1	1						2			
	玉掛け	30		8	16	6				4	18	3	5	
	巻上機	4		2	2						4			
	車輛系建設機械	3		1	2					1	2			
	消防・救急緊急自動車運転技能	6		1	5					1	5			
自動車整備士(2級・3級)	1				1					1				
危険物取扱者	甲種	1		1						1				
	乙種第3類	2		1			1			1	1			
	乙種第4類	37		7	9	14	6	1		7	22	5	3	
	乙種第5類	2			1		1			2				
丙種	23		9	11	3				4	12	2	5		
船舶助水難係	1級小型船舶操縦士	6		2	1	3					5		1	
	2級小型船舶操縦士	29		8	15	5	1			4	17	4	4	
	潜水士	22		3	8	8	3			2	18		2	
	潜水安全管理者	4		4							2		2	
救急関係	救急救命士	12		6	3	2		1		1	4	4	3	
	救急隊員資格(標準課程250時間)	11			2	3	6			1	6	1	3	
	救急隊員資格(Ⅱ課程・115時間)	35		4	17	14				6	19	4	6	
	救急隊員資格(Ⅰ課程・135時間)	8		6	2					1	7			
	応急手当指導員	56		16	23	17				8	29	8	11	
	JPTECプロパイダー	18		2	4	9	2	1		2	11	2	3	
	JPTECインストラクター	5		1	2	2					4		1	
	AED講習修了者	68	1	19	24	19	4	1		10	38	9	11	
BLSヘルスケアプロパイダー	5			2	3					4	1			
無線関係	第2級陸上特殊無線技士	40	1	12	10	10	6	1		9	23	3	5	
	第2級海上特殊無線技士	1				1							1	
	第3級陸上特殊無線技士	2			1	1				1	1			
	アマチュア無線技士	29	1	8	12	8				6	19	3	1	
その他	ガス溶断	29		7	17	5				5	18	3	3	
	アーク溶接	5		3	2						3	1	1	
	低電圧電気取扱	4		2	2						3	1		
	安全衛生管理者	1		1							1			
	安全衛生推進者	2		2						1	1			
	可搬ポンプ等整備資格者	2		2							2			
	消防設備士(乙種第6類)	1		1							1			
	特定科学物質等作業主任者	3		2		1				1	1		1	

4 予 算

消防費の比較／消防予算科目別状況	22
------------------------	----

消 防 費 の 比 較

(単位：千円)

年 度 別	当 初 予 算 額		
	一般会計 (A)	消 防 費 (B)	比 率 (B/A)
平成 15 年度	8,680,000	772,469	8.9%
平成 16 年度	7,828,000	818,900	10.5%
平成 17 年度	7,967,000	786,758	9.9%
平成 18 年度	7,737,000	730,977	9.4%
平成 19 年度	7,736,000	776,238 ※(572,554)	9.4% ※(7.0%)

※消防費から消防費負担金（消防事務受託費真鶴町負担金及び救急事務受託費熱海市負担金）を除いた額及び比率を示す。

・平成20年度消防費に係る消防事務受託費の内訳

消防事務受託費真鶴町負担金	190,585千円	24.5%
救急事務受託費熱海市負担金	13,099千円	1.7%
受 託 費 小 計	203,684千円	26.2%
消防費負担金を除く消防費	※572,554千円	73.8%
消 防 費 合 計	776,238千円	100.0%

消 防 予 算 科 目 別 状 況 (平成20年度当初)

(単位：千円)

	区 分	予 算 額	比 率
科 目 別	常 備 消 防 費	518,295	66.8%
	非 常 備 消 防 費	47,247	6.1%
	消 防 施 設 費	69,079	8.9%
	真 鶴 分 署 費	102,769	13.2%
	防 災 費	38,848	5.0%
性 質 別	人 件 費	631,758	81.4%
	物 件 費	90,479	11.7%
	普通建設事業費	34,433	4.4%
	そ の 他	19,568	2.5%

5 施設・機械

消防力の整備指針と現有（署所）／消防庁舎配置状況（常備）	23
／消防力の整備指針と現有（車両）	
消防車両一覧表	24
消防力の整備指針と現有（水利）／管区別水利配置状況	26



消防力の整備指針と現有（署所）

区分 比較	消防本部	消防署	分署	充足率
	基準	1	2	
現有	1	1	2	

消防庁舎配置状況（常備）

区分 名称	所在地	構造	面積(m ²)	建築年月
消防本部(署)	湯河原町土肥 1-5-22	鉄筋コンクリート 3階建	1,034	昭和52年 3月
奥湯河原分署	湯河原町宮上 775-27	鉄筋コンクリート 2階建	176 区民会館 と併設	昭和53年 3月
真鶴分署	真鶴町真鶴 515-1	鉄骨2階建	307 消防団詰所 と併設	昭和58年 3月

消防力の整備指針と現有（車両）

区分 比較	はしご車	化学車	消防ポンプ車		救急車	救助工作車
			水槽付	普通消防車		
基準(台)	1	0	4		3	1
現有(台)	1	0	1	3	3	1
充足率(%)	100	0	100		100	100

消防車両一覧表

区分	車両名	車名・型式	登録番号	排気量(ℓ)	艀装業者	級別	配備年月
消防本部	指令1号車	トヨタ クラウン E-GS131H改	相模 88 せ68-69	1.98	神奈川 トヨタ	—	H4.2
	指揮1号車	マツダ ボンゴ TC-SK82M	湘南830 ね 1-19	1.78	マツダ 小田原	—	H15.9
	指揮2号車	マツダ ボンゴ ABF-SK82M	湘南800 す45-91	1.78	マツダ 小田原	—	H20.3
	査察1号車	トヨタ ハイエース E-RZH101H改	相模 88 せ79-26	2.43	神奈川 トヨタ	—	H4.10
	事務連絡車	トヨタ カローラ E-AE100	相模 78 な17-10	1.49	トヨタ	—	H11.12
	消火・通報訓練指導車 (けすゾウくん)	マツダ タイフーン TC-SYE4T	湘南100 さ85-79	1.99	関東 マツダ	—	H16.8
消防署	湯河原1号車 (水槽付消防ポンプ自動車) (I-A型 1,700ℓ)	いすゞ フォワード KC-FSR33D4改	湘南 88 な 2-35	8.22	日本機械	A-2	H9.12
	湯河原2号車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	三菱 キャンター U-FE337B改	相模 88 せ63-01	4.21	日本機械	A-2	H3.10
	湯河原3号車 (水槽付消防ポンプ自動車)	三菱 キャンター P-FG335C改	相模 88 せ20-81	3.56	島山 ポンプ	A-2	S63.10
	はしご1号車 (はしご付消防ポンプ自動車)	日野 KB K-KB324改	相模 88 な17-76	9.83	日本機械	—	S55.2
	救助1号車 (II型救助工作車)	日野 レンジャー U-GD3HGAA改	相模 88 な32-54	7.41	日本機械	—	H2.12
	湯河原搬送1号車 (資機材搬送車)	いすゞ エルフ KC-NKS71LAR	湘南800 す45-63	4.57	小田原 いすゞ	—	H20.3
	湯河原搬送2号車 (資機材搬送車)	日産 アトラス L-BF22改	相模 88 せ 6-85	4.57	モリタ ポンプ	—	S62.8
	湯河原機動1 (消防用軽自動二輪車)	ホンダ ナイトホーク MC・26	1 湘南 い36-13	0.25	神奈川 ホンダ	—	H9.8
	湯河原機動2 (消防用軽自動二輪車)	ホンダ ナイトホーク MC・27	1 湘南 い36-14	0.25	神奈川 ホンダ	—	H9.8
	湯河原機動3 (消防用軽自動二輪車)	ヤマハ セロー BA-DG08J	1 湘南 か 12	0.22	ヤマハ 発動機	—	H15.12
	救急湯河原1号車 (高規格救急自動車)	トヨタ ハイメディック GE-VCH32S	湘南800 さ50-47	3.37	神奈川 トヨタ	—	H12.9
	救急湯河原5号車 (高規格救急自動車)	トヨタ ハイエース Z-UZH132S	相模 88 た 76	3.96	神奈川 トヨタ	—	H5.12
奥湯河原分署	奥湯河原1号車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	いすゞ エルフ KK-NKR71GN	湘南800 さ33-37	4.57	日本機械	A-2	H11.12
	救急湯河原2号車 (高規格救急自動車)	トヨタ ハイメディック TC-VCH32S	湘南800 さ89-06	3.37	神奈川 トヨタ	—	H15.2
	湯河原機動4 (消防用軽自動二輪車)	ヤマハ セロー BA-DG08J	1 湘南 か 13	0.22	ヤマハ 発動機	—	H15.12
真鶴分署	真鶴1号車 (CD-I型消防ポンプ自動車)	いすゞ エルフ KK-NKR71GN改	湘南800 さ73-06	4.57	日本機械	A-2	H13.11
	救急湯河原3号車 (高規格救急自動車)	トヨタ ハイメディック TC-VCH32S	湘南800 す16-70	3.37	神奈川 トヨタ	—	H16.12
	湯河原機動5 (消防用軽自動二輪車)	ヤマハ セロー BA-DG08J	1 湘南 か 14	0.22	ヤマハ 発動機	—	H15.12

積載無線	主な積載品	備考
ゆがわら指令1	広報装置	平成3年度県補助
ゆがわら指揮1 ゆがわら指令2	画像伝送装置・広報装置・緊急通信用可搬型アンテナ・携帯無線・携帯電話・ハンディFAX・発動発電機・炭化深度測定器・原因調査用資機材一式・指揮隊用簡易テーブル	平成15年度県補助
ゆがわら指揮2	消火器	平成20年(財)日本消防協会交付
ゆがわら査察1	広報装置・カメラ・検査ハンマー・筒先圧力計・漏電検出試験器・絶縁抵抗計・騒音計	平成4年度県補助
		平成11年度寄贈
	発電機、ビデオ、デジタルカメラ、モニター(28型)、訓練用消火器、コンプレッサー、119番通報訓練セット・説明用パネル、紙芝居、拡声器、火点標的	平成16年度(財)日本宝くじ協会助成的
ゆがわら1	携帯無線・ホース21本・空気呼吸器4器・予備ボンベ4本・ロープ類・信号器付投光器・リモコン式サーチライト・電動ホースレイヤー・エンジンカッター・チェーンソー・れき断防止器・特殊回転灯・東消式軽量ノズル・ジェットシューター・チタン製三連梯子	平成9年度県補助
ゆがわら2	携帯無線・ロープ類・ホース20本・オノ・スコップ・バール・トビロ・フォグガン・空気呼吸器3器・予備ボンベ4本・二連梯子・電動ホースレイヤー	平成3年度国補助
ゆがわら3	ロープ類・ホース24本・オノ・スコップ・バール・トビロ・フォグガン・空気呼吸器3器・二連梯子	昭和54年度国補助
ゆがわら梯子1	ロープ類・消火器・投光器・エンジンカッター・発動発電機・スローダウン・バクタイ・空気呼吸器4器・予備ボンベ・ホース12本・ケミカルライト・ベンケイ・二つ折り梯子・手トビロ	平成2年度国補助
ゆがわら救助1	B-2型小型動力ポンプ・トビロ・筒先・ホース3本	昭和62年(財)日本消防協会交付
ゆがわら搬送1	後部パワーゲート	平成19年度小田原消防寄贈
		昭和62年(財)日本消防協会交付
ゆがわら機動1	インパルス消火システム・ベンケイ・防塵マスク・防塵メガネ・ミネラルウォーター・応急手当用品	平成9年度県補助
ゆがわら機動2		
	消火器	平成15年(財)日本消防協会交付
救急ゆがわら1	平成12年度国・県補助	平成12年度国・県補助
救急ゆがわら5		平成5年度国・県補助
奥湯河原1	携帯無線・ホース14本・携帯発電機(投光器)・危険防止灯付三脚・エンジンカッター・チェーンソー・呼吸器3器・予備ボンベ4本・ロープ類・2連梯子・ガス検知機	平成11年度国・県補助
救急ゆがわら2	救急関係に記載(P47)	平成14年度県補助
	消火器	平成15年(財)日本消防協会交付
真鶴1	携帯無線・ホース18本・携帯発電機(投光器)・危険防止灯付三脚・エンジンカッター・チェーンソー・呼吸器3器・予備ボンベ4本・ロープ類・2連梯子・ガス検知機	平成13年度国・県補助
救急ゆがわら3	救急関係に記載(P47)	平成16年度県補助
	消火器	平成15年(財)日本消防協会交付

消防力の整備指針と現有（水利）

平成20年4月1日現在

区分 比較	消火栓	防火水槽	その他の水利	計	充足率
基準	278			278	97.5%
現有	145	122	4	271	
不足数	7			7	

管区別水利配置状況

平成20年4月1日現在

管区 区	第一管区	第二管区	第三管区	第四管区	第五管区	第六管区	第七管区	第八管区	第九管区	合計	
消火栓	100mm	3	7	10	2	0	7	7	8	1	45
	125mm					1					1
	150mm	5	9	10		1	16	15	1	1	58
	200mm	17	1			2	9		2		31
	250mm	2					1		1		4
	300mm						5		1		6
	小計	27	17	20	2	4	38	22	13	2	145
防火水槽	40未満							2			2
	40～100	15	11	16	8	12	18	17	12	7	116
	100以上	1			1		1		1	1	4
	小計	16	11	16	9	12	18	18	14	8	122
その他の水利					1	1	1	1		4	
合計	43	28	36	11	17	57	41	28	10	271	